

(資料6-4) 主な水道関連の事故事例等について

平成21年1月～12月

断水・濁水関係

事業者名	都道府県	種別	発生日時	事故施設	事故概要	事故原因
伊賀市水道事業	三重県	水道施設の事故	平成21年1月5日	配水管 (昭和51年布設 ダクタイル鋳鉄管 φ300mm)	1月5日20時、鋳鉄管直部で漏水発生。 約960戸に断水・水圧低下及び濁水の影響がでた。 6日8時、完全復旧。	腐蝕による破損(電蝕)
富里市水道事業	千葉県	水道施設の事故	平成21年2月13日	浄水場内配管 (昭和57年布設 鋼管(配水池連絡管) φ600mm)	2月13日14時30分、配水ピット内の改修工事による鋼管の取替え作業中バルブが外れ、配水池内の水が流出。 市内全域約14,600世帯が断水となった。 14日13時、完全復旧。	工事
鯖江市水道事業	福井県	水道施設の事故	平成21年3月18日	配水管 (石綿セメント管、φ150mm)	3月18日14時50分頃、水道管が破裂し、漏水発生。事故発覚後、直ちに系統切替等を行って対応したが、116件に断水が発生。また、推定860件に濁水が発生した。 18日20時頃、完全復旧。	老朽化
山形市水道事業	山形県	水道施設の事故	平成21年6月19日	増圧ポンプ場内配管 (昭和48年布設 ダクタイル鋳鉄管 φ300×200mm)	6月19日14時10分頃、増圧ポンプ施設の老朽化のため、施設更新工事において配管切り替え後、T字管継ぎ手部より漏水。 374戸に断水・濁水の影響がでた。 19日20時、完全復旧。	老朽化
横須賀市水道事業	神奈川県	水道施設の事故	平成21年7月10日	浄水場内配管 (大正10年布設 鋳鉄管 φ30インチ)	7月10日19時5分、当局発注による工事において、配水池の近傍でプレボーリング工法にて杭打ち作業を実施中に、既設管を破損。 既設管の埋設位置が想定とずれていたことが原因。 断水はないが、逸見高区配水池給水区域内、約10,000戸に濁水の影響がでた。 11日15時30分、完全復旧。	工事
堺市水道事業	大阪府	水道施設の事故	平成21年8月28日	配水管 (昭和51年布設 ダクタイル鋳鉄管 φ300mm)	8月28日16時、配水管更新工事の作業中、既設管の切断作業時に継手部が抜け出し断水及び濁水が発生。 約400戸の断水、約10,000戸の濁水の影響がでた。 28日18時40分、給水再開 29日0時30分、復旧作業完了	工事
京都市水道事業	京都府	水道施設の事故	平成21年9月14日	浄水場の内配水管 (昭和39年布設 ダクタイル鋳鉄管 φ1,000mm)	山ノ内ポンプ場整備(準備)工事中に、配水管(口径φ1,000mm、昭和39年布設のダクタイル管)を破損し漏水した。修繕工事に伴い、右京区・西京区・南区・中京区の各一部において、断水(約1時間)及び濁水が発生した。	工事
横浜市水道事業	神奈川県	水道施設の事故	平成21年11月29日	配水管 (昭和38年布設 鋳鉄管 φ300mm)	11月29日12時54分、綱島街道に縦断して埋設されている口径300mmの水道管に亀裂(幅2～3ミリ、長さ1.5m)が発生し、復旧工事に伴い断濁水発生。 210戸に断水、2,960戸に濁水の影響がでた。 29日21時50分、完全復旧。	老朽化

給水装置関係

事業者名	都道府県	種別	発生日時	事故施設	事故概要	事故原因
士別市水道事業	北海道	給水装置の事故	平成21年8月5日	給水管（需要者の施設）	8月5日、給水管に地下水からの配管が誤接合されていたことによる配水管への逆流が発生。 35戸に濁水の影響がでた。 7日、誤接合配管の切り離しを実施。原因を完全解消。	誤接合

水質関係

事業者名	都道府県	種別	発生日時	施設概要	事故概要	事故原因
群馬県東部地域水道	群馬県	水質の事故	平成21年1月8日	急速ろ過（水源：表流水）	1月6日に浄水場運転員が原水から油臭がするのを発見。粉末活性炭注入により浄水処理を継続した。浄水への影響は無かった。	不明 （原因者を特定できず）
鳥取市	鳥取県	水質の事故	平成21年6月3日	塩素消毒（水源：井戸）	6月3日に濁水が発生したことから、臨時の水質検査を実施したところアルミニウムが基準超過。 健康被害はなかった。	井戸周辺の水田 （代掻きにより生じた濁水が井戸に流入）
若桜町	鳥取県	水質の事故	平成21年9月24日	緩速ろ過（水源：表流水）	9月24日から10月1日にかけて簡易水道の給水区域で集団下痢が発生（発症者数36名）。水質検査等を行ったが、原因は不明であった。	不明 （原因は特定できなかった）
中標津町	北海道	水質の事故	平成21年10月4日	急速ろ過（水源：表流水）	10月4日に原水濁度上昇（最高370度）によりろ過池出口の濁度が0.1度を超過（最大0.35度）。クリプトスポリジウム流出の恐れがあることから飲用制限を実施。	降雨による河川濁度の 上昇